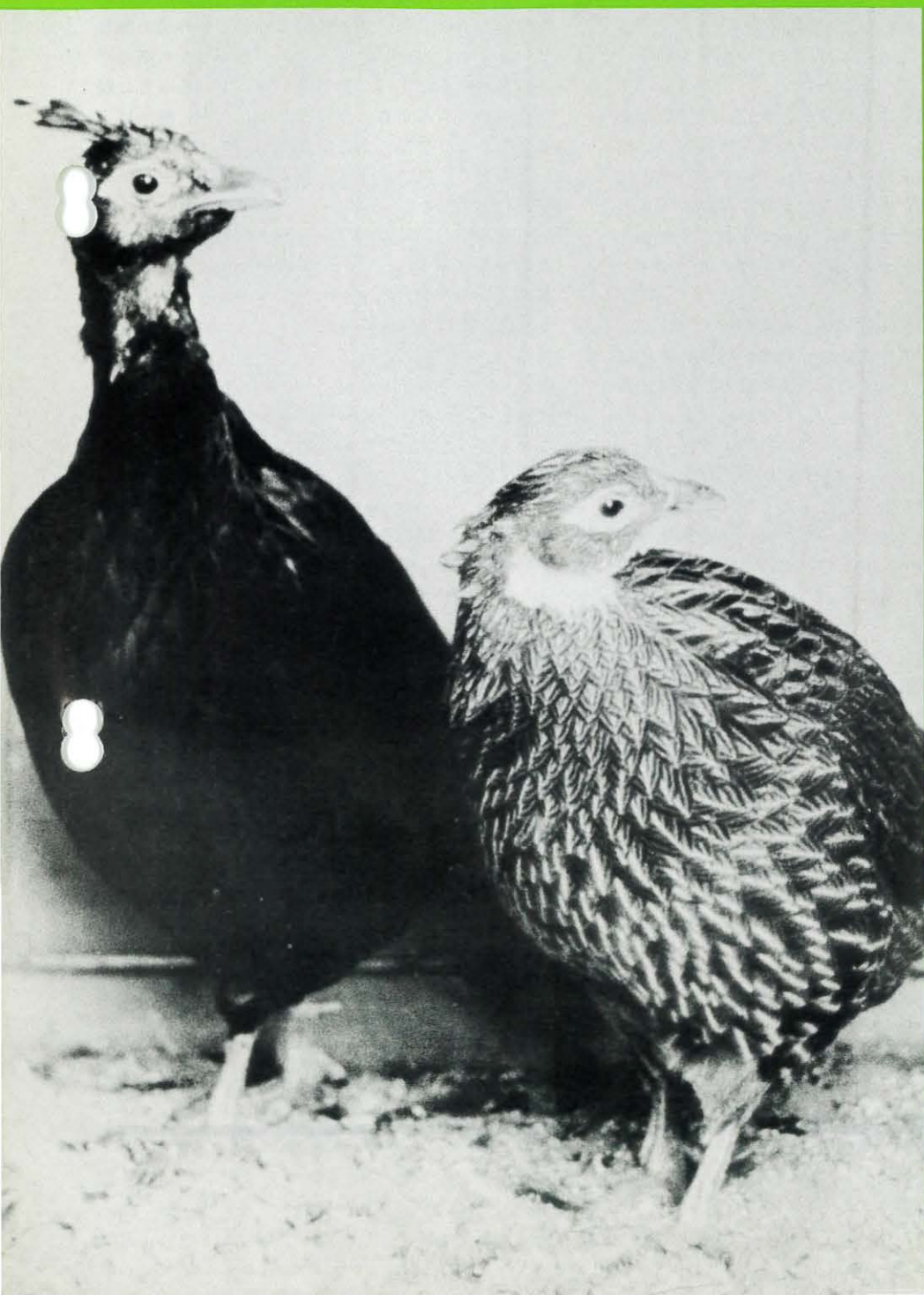


なきごえ



1977

9

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

松岡 恵爾



父は小鳥が好きでした。特に洋島の卵を十姉妹にふ化させて楽しんでいました。

私はどうも小鳥では物足りず、最初に手掛けた動物は犬です。当時は日本テリア種の全盛時代でした。

レコード会社の商標になっているのでご存知とは思いますが、蓄音器のそばで小首をかしげて聞き入っているあの犬種です。テリア系ですから気が強く利口な犬でした。頭部の黒の色調が薄いのでボスと呼んでいました。

当時は神戸の平野の祥福寺の近くに住んでいましたので、再度山から摩那山にかけての山歩きには、いつも私のお供でした。母乳の臭が残っている幼犬の頃からのつきあいですから、私には忠実そのものでした。

このボスの死を傷む心が私の獣医進学に、いくらかそのきっかけになっています。

昭和15年の卒業ですから、学生時代には満州開拓熱が吹き荒れていて、私もそれに取りつかれ、満州畜産公社に職を得て大陸に渡り、蒙古地帯に入ることになりました。

先月の8月22日NHKテレビで、「蒙古の遊牧民の生活」が放映せられましたが、全く当時もあの通りだったので、大変懐かしく見せてもらいました。

遠くからながめて、あれは馬群だ、こちらは牛群だと識別が出来るようになった頃軍隊入りとなり、北支軍で動物の血清やワクチンの製造に従事することになりました。そして終戦、復員と云うコースを辿りました。

さて、野生動物は、昭和23年大阪市に奉職、昭和

33年の移動で天王寺動物園に転属になってからです。

これ又、大変な仕事でした。第1に種類が多過ぎて、牛、馬、羊、豚と云う家畜の基礎知識だけでは仲々解決の付かないことが多く、又、治療をしようとしても相手が仲々許しては呉れません。捕獲の為に興奮させると却って悪い結果を招くことにもなります。そこで親和こそ治療の第一歩なり!!と勝手な理屈を付けて、彼らに信頼されることをモットーにしました。写真の犀君にも随分と自前の黒砂糖をなめられました。始めは柵の外から恐ろしく触れていました。黒砂糖でサービスに務めながら揺ゆそうところをこすって御気嫌を取っているうちに柵内に入れてもらえるようになりましたが、柵内に入るとそれなりに又、条件が異なるのです。私は振り出しにもどり、又、一年生になった積りでサービスにこれ務めました。

自信が出たのは何回目だったか覚えてませんが、宿直のとき見廻りに行くと、警戒の為身構えるので寝藁の音などが聞える筈ですが物音一つしません。静かに声を掛けても知らん顔です。そればかりか良く見ると、横になったままで後肢をかすかに持上げ気味で犬のそれのように早くかけと云わんばかりです。私はしめたとはいや心を押へながら寝室に入って肩などを押へたり、跨たがる動作をしましたが知らん顔です。安心しきっているのです。動物の感覚は全く驚くべきもので、いくら服装を替えてもすぐ見破るすばらしい能力を備えています。

動物園に永く勤務している人でもキリンの寝姿を見た人はいないでしょう。又、あの大きな象でも夜中近づくと必ず起きて迎えます。

私は翌日から早速乗(犀)馬を試みました。このようにことから犀の注射部位を発見することにつながって行きます。

昨年この犀が病気をしたとき、その部位を活用させてもらったことは云うまでもありません。

私は今、サハリーパークの仕事に関係していますので、ボスに始まった私と動物のつき合いは当分続くようです。

(朝日企業KK 技術顧問)



“モウコレイヨウの誕生”

8月2日、モウコレイヨウの赤ちゃんが生まれました。中国以外では世界でも当園にしか飼育されていない珍しいカモシカで、飼育下での繁殖はこれが初めてと思われます。

(P11 参照)

(撮影：宮下 実)

なきごえ9月号もくじ

動物と私	2
“モウコレイヨウの誕生”	3
動物園グラフ(サマースクール)	4・5・6
アジアの2,3の動物園を見て(Ⅲ)	7・8・9
こんなに大きくなりました“エミュの記録”	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“ニジキジ”

名前の通り、オスは緑、赤、紫、黄緑、青、茶、白と美しい色どりの羽に包まれており、アフガニスタン、西部ヒマラヤなどに分布するキジです。(左がオス、右がメス) (撮影：宮下 実)

動物園グラフ

“サマースクール特集”

7月24日～8月1日の9日間にわたって小学生4年～6年を対象としたサマースクールが開講されました。今回はこのサマースクールの内容をグラフで特集してみました。



① 大阪市自然史博物館で第1日目を終えた後、2日目は動物園へ9時半に集合。各班ごとに集まり、ボランティアのお兄さんやお姉さんから本日の予定の説明をうけているところです。



② 各班ごとに分かれて、各担当動物の観察です。
(キリンの首はなぜ長い?)



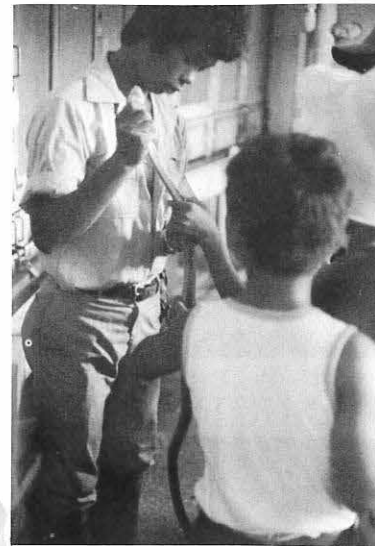
③ シマウマ担当のお兄さんから習性や餌などを説明してもらいました。
(係員のお兄さんってよく知っなあ!)



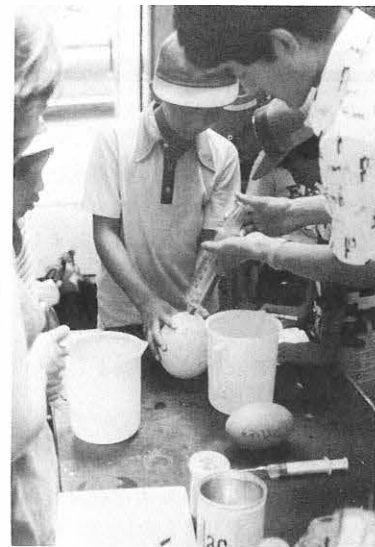
④ 調理場を見学して、餌の作り方を教わりました。



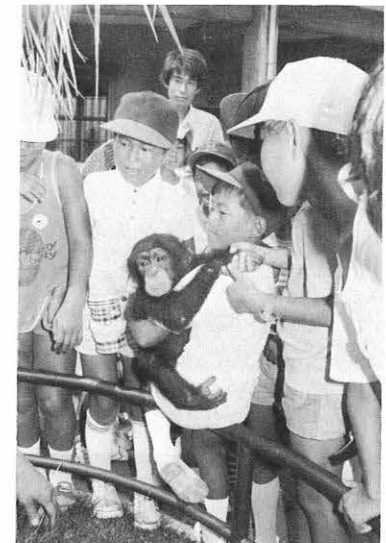
⑤ アシカはどんな餌を食べるのかな? アシカの給餌を見学しました。



⑥ ハ虫舎の中でヘビやトカゲを実際にさわらせてもらいました。
(あ～こわかった!)



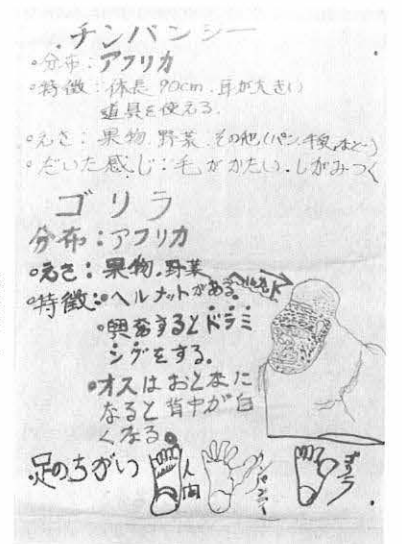
⑦ ダチョウの卵とニワトリの卵の大きさ比べ。
中に水を入れて容積をはかってみました。



⑧ どちらが美男子かな?
チンパンジーを抱かせてもらいました。



⑨ 3日目は園内見学の後、研究発表のための資料作りです。



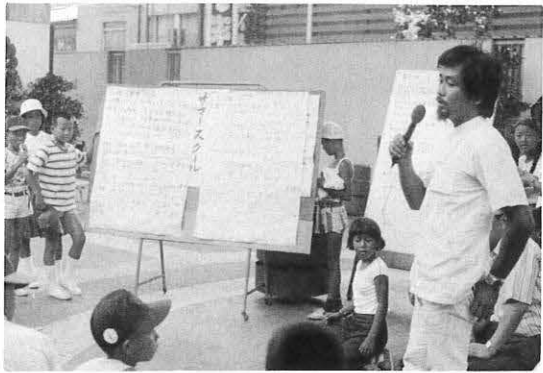
⑩ 発表資料です。
類人猿を担当した班の



⑪ さあー研究発表です。
(胸がドキドキ)



⑫ マイク片手に
「エー、ライオンのたてがみは…」



⑬ いろいろ質問が続出。分らないところは担当の獣医さんに説明してもらいました。



⑭ 最後に園長さんから修了証をもらいました。

7・8月の動物園日記

- 7/15. トカラウマのヒヅメが延び過ぎましたので切ってやりました。
- 16. スプリングボックに今年2頭目の仔が生まれました。この仔もオスでした。シマウマが回虫をわかしていたので、駆虫してやりました。
- 17/今年生まれのシュバシコウのヒナ2羽が、この日巣立ちました。
- 19. この日で、今年のフ卵器の運転を終了しました。
- 20. アカミミガメが5ヶ産卵しました。
- 22. ハナジカの仔が1頭生まれました。
- 23. 暑い日が続きましたのでホッキョクグマに氷をプレゼントしました。
- 24. 第3回のサマースクールが開講しました。
- 25. ハナジカがまた1頭生まれ、これで6頭目です。
- 28. マングローブスネークが1頭死亡しました。
- 30. 7頭目のハナジカの仔が生まれました。

- 31. クモザルのメスが出血性腸炎で死亡しました。骨折し、治療をしていたブラックバックが疥癬をわかしていたので治療を始めました。
- 8/1. 第3回のサマースクールが無事終了しました。
- 2. 日本で初めてのモウコレイヨウの赤ん坊が生まれました。メスの仔でとても元気です。
- 5. キングペンギンが食欲不振で下痢をしているので薬を飲ませました。
- 6. スジオナメラが4頭フ化しました。フ化日数は77日でした。
- 7. 今年生まれのカナダガンのヒナが脚を痛めているので治療してやりました。
- 9. フサオマキザルの仔が去年に続いて生まれました。今度もオスの仔でした。
- 10. 昨日生まれのフサオマキザルの仔が母親に面倒を見てもらえないようなので、今年もまた引き取って人工哺育にしました。
- 12. ダマシカが第1胃にビニールをため、栄養不良の為、死亡しました。

アジアの2、3の動物園を見て(Ⅲ)

ネパールの動物園

樽本 勲

3月21日、カル Катタを発って空路カトマンズに向う。ネパールに近づくると右側の機窓から遠く雲の上に銀色ヒマラヤの峰々が連なって見えた。一きわ高く雲をひっかけているのが世界最高峰のエベレストだった。その他K₂峰とかダウラギクとか機窓からは一線に並んでいるようであった。カル Катタから1時間30分くらいで、高原の町カトマンズに着陸した。海拔1300メートルというこの地は空気は乾いていて3月の平均気温が16.3度ということで、涼しい感じがしたが雨が少いせいとかほこりっぽい感じであった。中共ロードといって中国が資金援助して造った大きな道路が空港から中心街に伸びていた。ここにはトロリーバスが走っていて街路樹が整然と植っていた。ホテルは旧土侯の王宮といわれる大きな建物で、フランス人など欧米人の観光の団体客で賑わっていた。

空港に着いた頃から何か気分が悪かったのだが、ホテルに着くと激しい下痢とふらつきで、同行の医師の方に薬をもらって飲んで部屋で寝ることにきめた。ツアーの一行は市内観光に出かけてしまったが、2時間ばかりぐっすり寝たのがよかったのか、だいぶ元気になった。4時頃からであったが、タクシーを拾って一人でカトマンズ動物園に行く。ホテルから14キロぐらい離れている隣りのパタン市にあり、ちっぽけな田舎の動物園という感じであった。

もっとも首都のカトマンズの人口が25万人というのだから大きな動物園を期待する方が無理というものであるが……。タクシーの運転手は若い男で、往復の運賃40ルピー(約1000円)ということで動物園の中もずっと一しよに回ってくれた。動物舎はどれもレンガ造りのもので、人仕柵などはライオン、トラ舎以外は全くなかった。アカゲザルの入った檻は鉄格子が一部破れていて親子のサルが檻の前で遊ん



正門前で

でいたのには何かのんびりした感じではほえましかった。他にサルではハヌマンラングールがいた。入園者は月曜日だというせいもあり、チラホラという程度であった。草食獣の入っているところは、かなり広い場所をとってあったが、どれもレンガ壁の仕切りの四角い放飼場で、少々の木が植えられているというだけのものであって、展示に工夫しているなどいうところはなかった。ブラックバックがかなりいて2カ所の放飼場にいた他、インディアンサンバーとかヤクなどが入っていた。

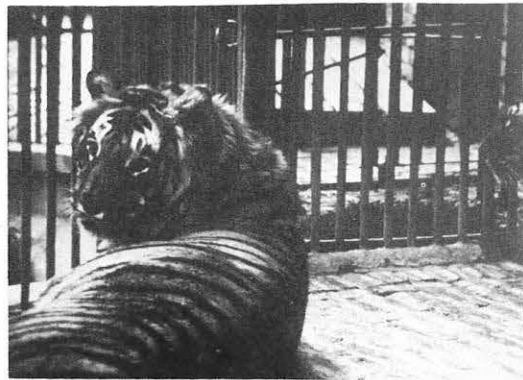
園の中央あたりに池があり、周りは割に太い木が繁っていてキョンが散歩している風景にぶつかった。もうだいたい前から園内を放し飼いにしてあるらしく少しもオドオドしたところがなくいいものだと感心した。



サル舎など



草食獣舎



その他の猛獣としては、ヒョウがいた程度で人止柵もない鉄格子の家に閉じ込められているというふうな感じであった。

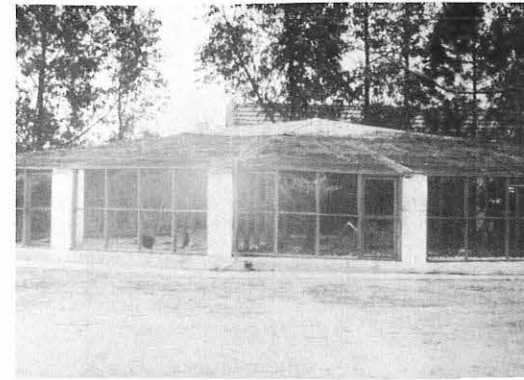
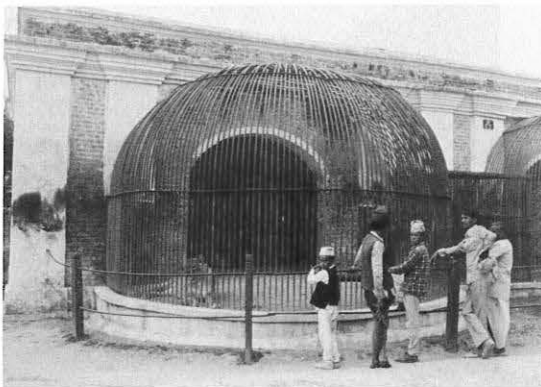


ライオン舎は、円型の鉄格子の檻で、簡単な人止柵があり4～5人の観客があった。レンガの床にアフリカライオン1番がものうげに寝そべっていたが、同じような檻が隣りにあり、ここにはトラが1番いた。このトラは眼の上の白斑が大きく、丸い顔が特徴的で、やや毛足も長く黒い縞もはっきりしていたが、ベンガルトラかどうかははっきりしない。

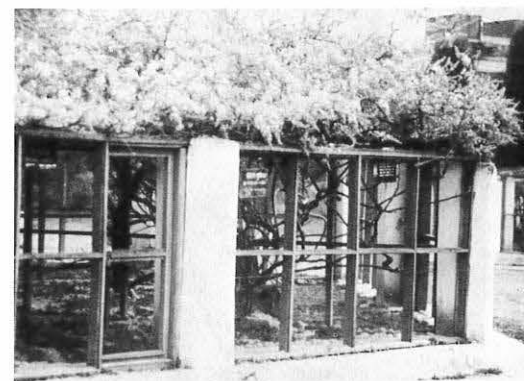


ヒョウ舎

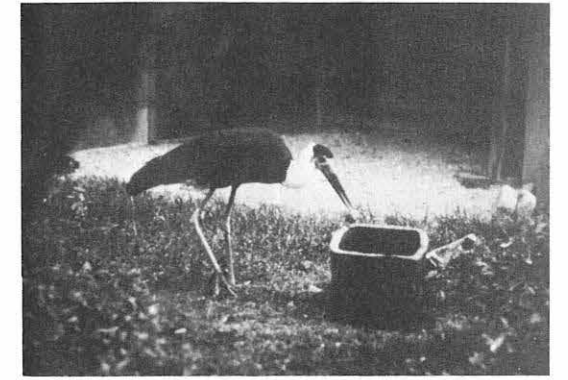
ゾウ、キリン、カバ、サイというような大型の草食獣は飼育していなかった。ただシマウマが1頭シカ舎のようなところに大切にいられていたのが印象的であった。



ネパールといえばキジの本場で、ジュケイとかニジキジなど珍しいキジがたくさん見られると思って期待していたが、この方も期待はずれであった。ベニジュケイがいた程度で、大したキジの仲間を集めているふうでもなかった。キジ舎は全体が円型になっていて、間口4メートルくらいで奥行6メートルくらいの三角形に部屋割りしてあり、天井と前面は金網張りにしてあり、天井には紫色の藤の花が咲いていて美しかった。



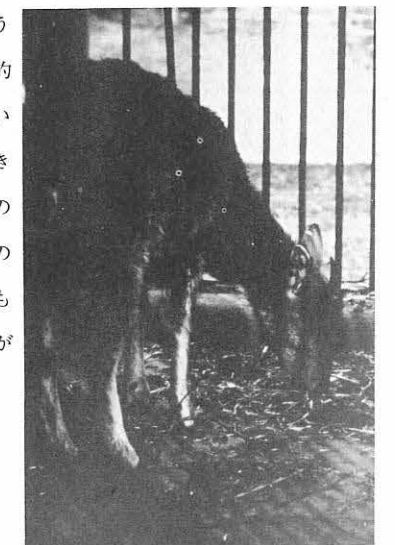
同じようなタイプの別の禽舎にはハトの仲間や、コサイチョウ、ヤツガシラのような鳥の仲間がいた。ツル類もいなかったがコウノトリではエンビコウウがいた。また、ガンやカモも見べきものはなかった。コブハクチョウやインドガン、コブガモなどが、ただ1羽のフラミンゴと共にレンガ造りの池にいた。



エンビコウ

この動物園で一番珍しいなと思ったのは、ヨツヅノレイヨウで、ちょうど日本カモシカとほとんど同じ格好の短い角をしたカモシカであった。赤い茶色の毛をしたきゃしゃな身体に細い足のこのカモシカは放飼場に入れられることなく、狭い小屋にとじこめられたような状態であった。

園の人に会うこともなく、約1時間半くらいでホテルに引きあげたが、この動物園は動物の蒐集や展示にもつたらない気がした。



(動物園飼育課主査)

こんなに
大きくなりました。
“エミュの記録”

4月12日、みさき公園より頂いた卵の内の
1ヶが6月7日人工ふ化しました。
(ふ化日数56日)
(飼育課：大野尊信)



① フ化翌日
保護色の感じがわかります。
体重450gです。



③ さーすが 走鳥ノ



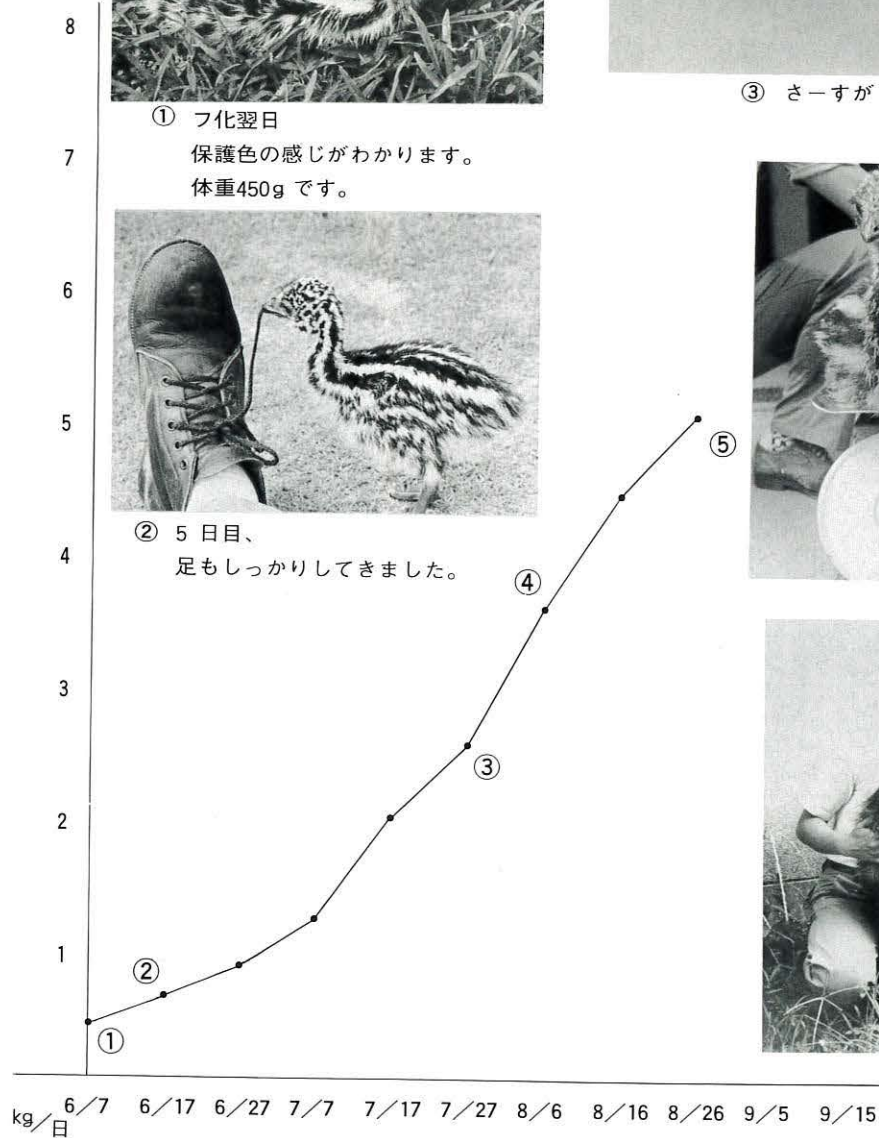
② 5日目、
足もしっかりしてきました。



④ 体重測定8月6日2ヶ月目
3700g



⑤ 僕とエッチャンの記念写真



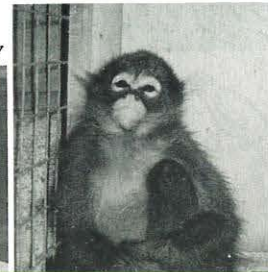
動物園ニュース

☆モウコレイヨウの誕生

8月2日、
モウコレイヨウが1頭(メス)生まれました。これは昭和49年9月に中国の北京



はジェクロイクモザル
(メス) 1頭とタイハク



夢が広がるショッピング...
近鉄がお届けします



近鉄百貨店

ランチをさし餌して育てています。(昭和50年に繁殖
成育に成功して繁殖賞を受賞しています)

☆新着動物

マカロニペンギン2羽とイワトビペンギン2羽が
8月20日入園しました。さっそく冷房ペンギン舎に
移し、暑い長旅の疲れをとってもらいました。マカ
ロニペンギンは昭和46年以来、当園には収容されて
おらず、6年ぶりのお目見えです。又、寄付動物で

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。年内
の休園日は下記の通りです。

9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、
12月29～31日(年末休園)

開園時間は9時半～5時で、4時半に切符売止
めになります。

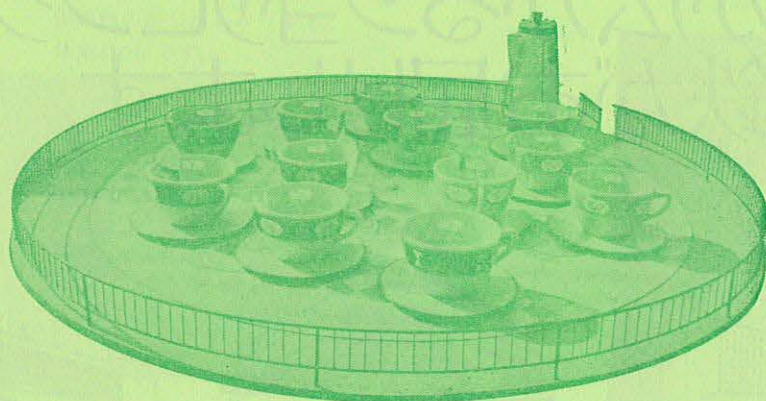
こんなに
大きくなりました。
“エミュの記録”

4月12日、みさき公園より頂いた卵の内の
1ヶが6月7日人工ふ化しました。
(ふ化日数56日)

(飼育課：大野尊信)

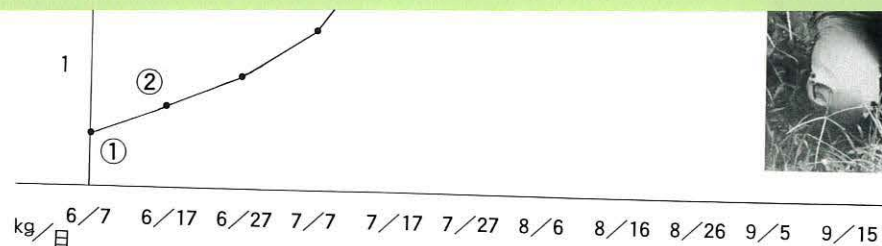


遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番



写真

動物園ニュース

☆モウコレイヨウの誕生

8月2日、
モウコレイヨウ
が1頭(メス)
生まれました。
これは昭和49年9月
に中国の北京



動物園より当園に贈られてきたモウコレイヨウ夫婦
の初めての赤ちゃんで、8月2日正午頃、元気に誕生
しました。このモウコレイヨウは中国以外では世界
でも当園にしか飼育されていないという珍しいカ
モシカで、日本ではもちろん最初のおめでたです。
赤ちゃんの大きさは体長53cm、体高42cmで、うす茶
色の毛色です。(妊娠日数：186日)

☆フサオマキザルの人工哺育



8月9日、
フサオマキザ
ル(オス)が
生まれました
が、母親が世
話をしないた
め、翌日から
人工哺育で育

ています。昨年この母親は仔のめんどうをみ
なかつたため人工哺育で1頭育てており、2年続い
ての人工哺育です。生後2日目の体重が150g
でしたが25日目で250gにふえ、順調な成育ぶりです。

☆スジオナメラのふ化

8月6日、
スジオナメラ
が5頭ふ化し
ました。スジ
オナメラとい
うのは中国や
東南アジアに
分布するヘビ

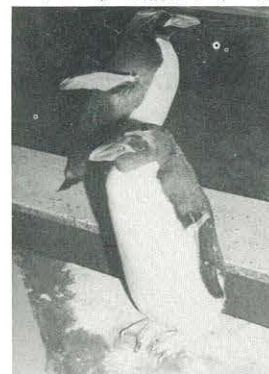


で、当園では4年連続のおめでたで、現在、肉のミ
ンチをさし餌して育てています。(昭和50年に繁殖
成育に成功して繁殖賞を受賞しています)

☆新着動物

マカロニペンギン2羽とイワトビペンギン2羽が
8月20日入園しました。さっそく冷房ペンギン舎に
移し、暑い長旅の疲れをとってもらいました。マカ
ロニペンギンは昭和46年以来、当園には収容されて
おらず、6年ぶりのお目見えです。又、寄付動物で

はジェクロイクモザル
(メス)1頭とタイハク



オオム1羽の寄贈があり
ました。

☆サル島の改修工事始まる

ニホンザルの収容されているサル島がかなり老朽
化し、疑岩などが穴があいたりくずれかけたりして



きたため、8
月23日から改
修工事を始め
ています。完
成予定は9月
20日頃で、9
月末頃には改
装なったサル

島で新しい集団のニホンザルをご覧頂けるでしょう。

☆秋の行事のお知らせ

10月1日～11月15日の間、北園展示館で「動物達
のたべもの展」を開催します。これは日頃見なれた
動物がどのような餌を、どの位の量を食べているの
か、実物や模型を使ってお見せするものです。

10月9日～11月3日まで秋の動物園まつりが開か
れます。期間中の日曜・祝日にはいろいろな催物
を用意しています。又、この期間中、ゴミのないきれ
いな動物園へ協力を求めるクリーンキャンペーンを
展開する予定です。

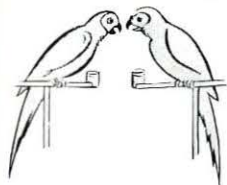
◎お知らせ◎

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。年内
の休園日は下記の通りです。

9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、
12月29～31日(年末休園)

開園時間は9時半～5時で、4時半に切符売止
めになります。

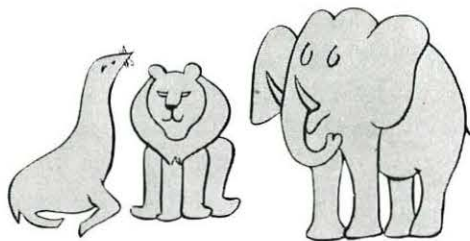
なきごえ 昭和52年9月15日発行(毎月1回15日発行) 第13巻第9号(通巻145号)
 編集/大阪市天王寺動物園 千543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 振替口座 大阪 37823
 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしいさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三〉
 〈石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明〉